

三重県のり情報

発行 三重県漁業協同組合連合会
指導部

住所 三重県津市広明町323-1
Tel 059-228-1205
HP <http://www.miegyoren.or.jp/>

(海況情報)2月24日調査時点

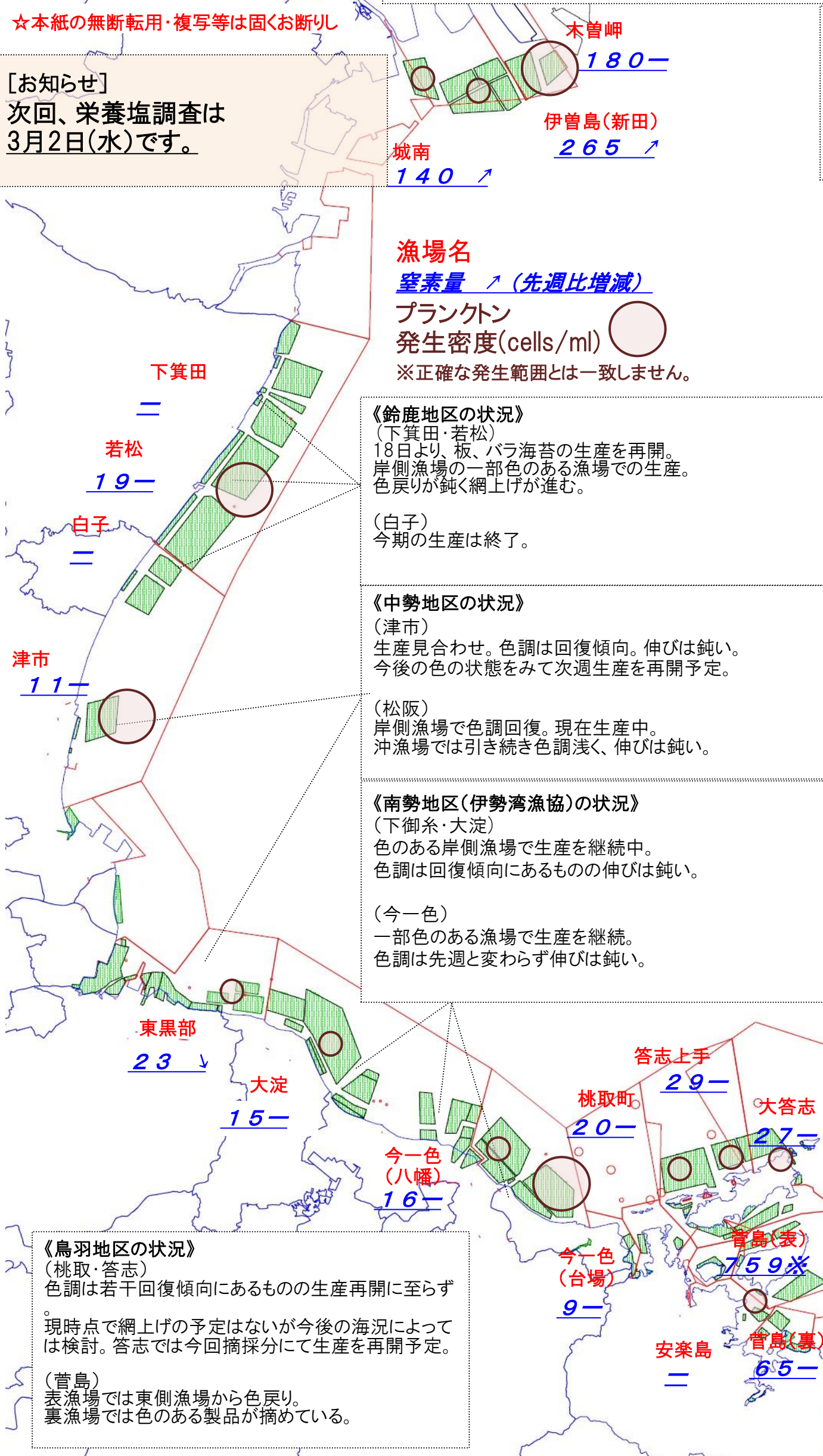
【水温】6.4~15.5℃。 平年より高めで推移。
【プランクトン】 中勢の一部漁場で発生中。
【栄養塩量】 桑名地区を除き少なく、津、南勢(今一色)で極端に少なくなっています。

【潮位情報】 名古屋港の潮位偏差・毎時偏差速報値(気象庁)
予測潮位 -4cm ~ +24cm やや高めで推移。
今後の動向に注意して下さい。

★情報収集、普及活動、試験分析担当
<桑名~南勢明和>
津農林水産事務所水産室
(tel)059-223-5128
<南勢伊勢~鳥羽>
伊勢農林水産事務所水産室
(tel)0596-27-5189
<鳥羽>鳥羽市水産研究所
(tel)0599-25-3316
<試験分析等>
三重県水産研究所鈴鹿水産研究室

☆本紙の無断転用・複写等は固くお断りし

[お知らせ]
次回、栄養塩調査は
3月2日(水)です。



漁場名
窒素量 ↑ (先週比増減)
プランクトン
発生密度(cells/ml) ○
※正確な発生範囲とは一致しません。

《鈴鹿地区の状況》
(下箕田・若松)
18日より、板、バラ海苔の生産を再開。
岸側漁場の一部色のある漁場での生産。
色戻りが鈍く網上げが進む。
(白子)
今期の生産は終了。

《中勢地区の状況》
(津市)
生産見合わせ。色調は回復傾向。伸びは鈍い。
今後の色の状態をみて次週生産を再開予定。
(松阪)
岸側漁場で色調回復。現在生産中。
沖漁場では引き続き色調浅く、伸びは鈍い。

《南勢地区(伊勢湾漁協)の状況》
(下御糸・大淀)
色のある岸側漁場で生産を継続中。
色調は回復傾向にあるものの伸びは鈍い。
(今一色)
一部色のある漁場で生産を継続。
色調は先週と変わらず伸びは鈍い。

《桑名地区の状況》
(木曾岬・伊曾島・赤須賀)
全力生産中。
色調、伸びともに良好。好調な生産が続く。
一部漁場では葉体流出が継続中。
25日共販では黒バラ海苔700kgを出品予定。

海況、注意点等
鈴鹿(下箕田・若松)で生産再開。南勢・鳥羽答志、桃取では引き続き厳しい状況。
漁場栄養塩量は鳥羽でわずかな増加がみられるものの依然として少なく、答志、桃取では生産を見合わせている状況です。鈴鹿では先週末より、板のり、バラ干海苔の生産を再開しました。その他の地区でも顕著な色戻りには至っておらず、岸側、川筋などの一部色のある漁場で生産を続けている状況です。

1月降水量、過去10年で最低。
今期の県内総生産は9000万前後か
第7回共販(25日)時点での県内累計生産枚数は7142万枚となり昨年同期に対しおよそ2000万枚の減産となっています。
1月の記録的な少雨、長期にわたる大型珪藻の発生により始まった色落ちは依然として継続中であり、今後の見通しでは今期の県内総生産は1億枚を下回る見込みです。

・ 共販情報 ・
2月25日(金) 第6回汐
(出品数量)

桑名	515万枚 (伊曾島507 赤須賀8)
鈴鹿	31万枚 (下箕田5 若松26)
中勢	22万枚 (松阪22)
南勢	220万枚 (大淀128 今一色92)
鳥羽	165万枚 (菅島165)

【合計】 953万枚 (昨年:2192万枚)

・ 共販結果 ・
平均単価 : 10.54円 (昨年:9.20円)

《鳥羽地区の状況》
(桃取・答志)
色調は若干回復傾向にあるものの生産再開に至らず。
現時点で網上げの予定はないが今後の海況によっては検討。答志では今回摘採分にて生産を再開予定。
(菅島)
表漁場では東側漁場から色戻り。
裏漁場では色のある製品が摘めている。